

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 26 年 6 月 19 日〔木〕 19:30～20:15
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 8 名 出席委員数 6 名 欠席委員数 2 名

出席委員の氏名

深田 剛／越間 孝子／里村 正力／重村 久美子／元井 雄太郎／元野 健三

欠席委員の氏名

肥後 智子／元田 豊春

放送事業者側出席者名

麓 憲吾／丸田 泰史／沖元 眞実／上野 紋／渡 陽子／中田 健治／手蓑 慎之祐／

作井 美由紀／宮田 愛

### 4 議題

審議(「はまだまーぼの あっただんまドゥシ！」について)

### 5 議事の概要

- (1) 欠席者のお知らせ
- (2) 審議(「はまだまーぼの あっただんまドゥシ！」について)
- (3) 次回の審議議題について

### 6 審議内容

- (1) 欠席委員の報告がされた。
- (2) 番組内容の審議(「はまだまーぼの あっただんまドゥシ！」)

### 深田委員長

第 44 回のあまみエフエム放送番組審議会ということで、本日 19 日木曜日、1 時間を目安に審議していきたいと思えます。今回の議題は、長寿番組「はまだまーぼの あっただんまドゥシ！」についてです。

いつもは、質問事項を設定してサンプル CD を渡しているのですが、今回は、ざっくばらんに番組について(ご意見を)おっしゃってほしいというところで、あえて設問がない状態でサンプル CD を渡してあります。

放送日時が本放送、毎月第1、第3日曜日 午後9時から10時です。再放送が、それぞれ翌週の日曜日午後9時から第5週はスペシャルとして、パーソナリティ1人で好きなものを語る独演会やテーマにまつわるゲストとのトークなどを行っています。

内容は、2009年1月スタートの地域住民参加番組。パーソナリティは濱田政信さん、まーぼ兄(アニ)です。毎回、島に住むゲストを迎え、その人のシマでの暮らしや人となり、力を入れていることや仕事などについて伺いながらリスナーに「愛と笑いを届ける」トークバラエティ番組。出演ゲストにはご友人など次回ゲストを紹介してもらって繋いでいます。ゲストには、序盤にパーソナリティへのおみや(お土産)、中盤で自分の好きな曲、エンディングで身の回りの誰かへの感謝への手紙、という3点をお願いしているという、息の長い番組です。

では、さっそくですが、みなさんに聴いていただいた中での、疑問質問その他いろんなご意見「こうしたらもっといいのに」「このままでいい」ということもあると思えますが。では、重村委員からよろしいでしょうか。

## 重村委員

前回もお話したんですけれども、龍郷に住んでいまして、電波が届かなくて聴くことができないんですね。今回も、濱田さんの番組を1回聴くだけでは、今までどんな方が出ていたのか比較ができなくて、軽く気が引けて凹んだんですけれども。聴いてて、濱島さん(ゲスト)と世代が違うせいだったと思うんですが、前半は聴いてて、厳しい言い方ですけども、何がおもしろいのかしら、本人たちだけが盛り上がっている感じがして、なんて意見を述べたらいいのかしらと思いました。後半のあたりから、おじいちゃんの介護の話が出てきて、そのあたりから(自分との)共通点も出てきて、彼女の優しい面も伝わってきて、ほっとしたんですけれども。お土産もおもしろかったです。好きな曲っていうのは、どんな理由でどうしてこの曲を選んだかっていうのを(ゲストに)聞いているんですか? 毎回、出演するゲストに聞いているんですか? ただ好きだけ?

—放送局 上野 基本的には、選んでいただいてかける前にどうしてこの曲かを、何ようにはしています。

## 重村委員

今、龍郷の方でもエフエムたつごうがスタートして、毎朝10分くらい(龍郷町役場の職員が)各課から1人当番を決めて、その人がいろんなお知らせをして、選んだ1曲というのが流れるんですけど、どうしてその曲を選んだかっていうのを発表してからするんですね。そしたら、その子の人となりとか年齢はこれくらいかなっていうのが想像できて、すごく楽しいんです。最後に、感謝の手紙っていうのがあったんですが、毎回(ゲスト)本人に読んでもらっているんですか? こないだ(サンプル)は、代読でしたけれども。

—放送局 上野 毎回、代読にさせていただきます。

## 重村委員

それを残念に思いました。できれば、本人の生の声で言ってもらった方が、その人の性格がよりわかる気がしますので、できれば代読ではなくて、毎回毎回その人(ゲスト本人)に読んでもらったら、もっと心に強く残るかなという風に感じました。

私の意見はこれくらいなんですが、他の人の意見を聞いたら、私の中で違う意見が出てくると思いますので、他の方の意見も聞かせてください。

## 深田委員長

重村委員のご意見の中に、「最初はなかなかかみ合わなかった(自分にフィットしなかった)」ということがありましたが、もし自分がプロデュースするのであれば、今回(この番組)は、友だちの紹介で(つないで)いっていますが、こういった方を呼んでもらって、こういう風になればおもしろいと思った年齢層、男、女なんかあると思うんですよね。

## 重村委員

年齢層というのは、若い人が続けばずっとお友だちを紹介していくので(同じ年齢層が)続いていきますよね。たまには、またスタートから戻って、年齢のバランスを持たせると、リスナーの人もいろんな(年齢の)幅の人が聴いているのでいいかなと思うんですけど。時間の60分というのは、ちょっと長くないかしら、と思ったりもしたんですけど。ゲストは今まで、1人と決まっていますか?

## 一放送局 上野

基本的にはお一人ではなんですけど、基本の1人がいらっやって、友だちを連れて来たりという場合には 2人ということもあります。

**重村委員** それでは、親子を招いてもいいし、兄弟を招いてもいいという場合があるんですね。

**深田委員長** ありがとうございます。では、越間委員お願いします。

## 越間委員

前は参加できず、申し訳ありません。今日はよろしくお願いします。緊張しているので、深呼吸しますね。

**深田委員長** 一緒にやりましょう。（一同笑）

## 越間委員

私はいつも、(ラジオを)事務所で聴いてて、まーぼさんのは平日、会社で聴いてたんで、日曜日が変わってからはずっと聴いてなかったの、久々に聴かせてもらったのですが。最初は、どうしてもその方(ゲスト)のことがわからないし、まーぼさんも会話の糸口がなかなか慣れるまで聞き取りづらいというのがあるんですが、そういう普通の人のやりとりって、なかなか聞くことができないので、楽しいと思います。

私は、おみやを楽しみにしてるんですよ。けっこう良さそうなやつって、自分も買いに行ったり、味わうことができるので、けっこうチェックをしていますね。最後のお手紙は、もし自分が出たら誰に書くんだろうとか、すごく照れくさいし、最近手紙を書かないじゃないですか。メールで済ませてしまうので。重村委員が言ったように、本人が読むと一番いいんでしょうけど、きっとご本人が照れくさいのもあって、まーぼさんが締めて読んでくれているのかなと思います。それでも、けっこう感動したんですよ。すごく大切に育てられた人だなという感じがして、お父さんと一緒にヴァージンロードのところでは、ウルウルしてしまうのですが。濱島さんという方を知らないんですけど、人となりがわかって、とてもよかったと思います。

残念なのが、日曜日にやって、再放送も日曜日なので、聴けないんですよ。なので、平日の昼間に変えて放送してもらえたら、私としては聴きやすいのでうれしいです。最初、60分て長いかなと思ったんですが、意外とあっという間に終わって、意外と短いなという感想です。以上です。

## 深田委員長

越間委員からあった、日曜日にやって再放送も日曜日というところで。(放送日程)平日の夜間枠というのは、みんなほぼピッタリ(余裕なく番組が組まれているように)なってるんですか？特に日曜になっているのは、理由はないんですか？

## 一放送局 上野

毎回、改編の段階でいろいろ考えはしているんですけど、2年前に1回改編をして、平日の再放送をなくして日曜日だけにしました。バラエティ枠であり、ご本人も夜意識がおありだったので、そうしたのですが。先日お配りしたご案内には記載がなかったのですが、5月から日曜日の第一第三日曜日の夕方4時からに変わって、平日ではないのですが、再放送も同じ日曜日の第二第四日曜日になっているので、夜で聴きづらいということになるよりは、この方がいいと。組む中での意図としては、「日曜日のお笑い」という形には変わりはないかという認識です。

**深田委員長** この番組の時間(の長さ)は、変更になったことはありますか？

ー放送局 **丸田** 最初から 60 分でスタートしています。

**深田委員長**

では、元井委員お願いします。

**元井委員**

ゲストの濱島さんが同世代ということもあり、割とすんなり入ってきました。60 分、あっという間だったんですけど、重村さんがおっしゃっていた、代読というところは、僕は泣きました。今までしゃべっていたという人がいなくなったという状況で、濱田さんが読まれる。で、その手紙の内容が逆にじっくり入ってきて、ゲストの濱島さんの声をまた聞きたくなりました。あれは特殊な回なんですか？どっちもしゃべるから、すごく楽しく聴けて、最後の最後であんな感じになったんで、涙が止まらなかったんですけど。逆に、濱田さんが言ってくれたことでじっくりきて、あと名残惜しさが残って、また(ゲストの話を)聞きたいなってなりました。

**重村委員** 毎回、本人が帰ったあとで本人のメッセージを読んでいるんですか？

ー放送局 **上野** 実際は、目の前にいるんですけど、もうしゃべらないでください、ってしています。

ー放送局 **丸田** 番組上ではお別れはしています。

**深田委員長**

まーぼ兄の引き出し方は、すごく勉強にはなりますよね。それがあある意味、この長寿番組の理由かなと思いました。

**元野委員**

お疲れ様です。まーぼ兄の番組は、島に帰ってきて初めて聞いたとき、正直プロの人かと思いました。声もすごい好きなトーンをしてるので。毎回、(放送時間が)日曜の夜 9 時 10 時でなかなか聞けないんで、1時間丸々聞いたことはないんですけど、ゲストの方を知っているリスナーだったら、60 分あっという間なんだろうなと思いました。自分のまったく知らないゲストだったりすると、CD に変えちゃったりするかなと思います。この方(ゲスト)と初対面って言っていましたよね？全然、面識があるのかいっちょ思うくらい、毎回まーぼ兄は引き出しを引っ張ってきてくれるので、そのへんの駆け引きはうまいと思って聴いてますね。

手紙は、まーぼ兄が読んだ方がいいのかなと思ったりします。もし僕がゲストで来たときには、たぶん読みきれんや(=読めないだろうな)と思ったりして。恥ずかしいのと、どうしても、ちゃんと読まないといけないうてなるので、まーぼ兄が替わって読んだ方が、うまく気持ちが表せるのではないかと思います。そんな感じですかね。

**深田委員長** ありがとうございます。蛇足になりますが、長い手紙もあるんですか？

ー放送局 **上野**

はい。長さは特に指定しませんので。収録に入る前には、三点セットといって、おみや(お土産)、曲、手紙をいただいて、そこでまーぼさんが初めて目を通して、「何分ぐらいだな」という検討をつけて、番組の進行上の都合

なんですけど、このくらいの時間割で行こうかという指示を出すだけなので、特にゲストの方には手紙の長さの指定はしていません。

**深田委員長** 長文の感想文もありえますか？逆に短いときも。

—**放送局 上野** ありえると思います。指定はしてないので。

**元井委員** (放送局 上野に対して) 泣いたことはありますか？

—**放送局 上野**

ご本人(ゲスト)が泣いていたり、私もわーってなることもあります。最近、それが多いかもですね。

**元野委員** 年のせいじゃないですか？

(一同笑)

**深田委員長**

年の話が出ましたが、今どうしても同年代でつないでいるって話も出ましたが、ぴょんって(年代が)飛んだことはないのかなって(気になりました)。最高齢っておいくつの方ですか？

—**放送局 上野**

私が担当して1年ちょっと経つんですけど、五十代の方もいらっしゃいました。男性が多いですね。

**深田委員長** ちなみに、一番下は？

—**放送局 上野** 二十歳の方がいらっしゃいました。

**深田委員長** では、里村委員お願いします。

**里村委員**

お疲れ様です。

内容構成等、長くされている番組ということもありまして、よくできているなと思いました。60分という時間は、自分の感覚ではちょっと長いと感じました。人によっては、ゆっくり聞ける人とそうでない人で変わってくるとは思いますが、私にとっては長いので、日常で聴くには厳しいかなと思いました。

複数名での出演だと聴く方(リスナー)がわかりにくいという意見を前回言いましたが、今回は1対1だったのでわかりやすかった、男性女性ということもあるとは思いますが、内容が聞き取りやすかったです。複数名来るといふこともあると聞きましたが、なるべく会話が流れている中で、誰がしゃべっているのかっていうのがわかるような構成ができればなっていう自分の希望はあります。

個人的な印象なんですけど、先ほどプロの方かと思ったという意見もあったんですけど、他のパーソナリティーに比べたら、部分的に雑に聞こえるところがありまして、聴き慣れていないところもあってのことだと思うんですけど、逆に聴き慣れていない観光客とかが聴いたら、長く聴けるのだろうか、60分聴けるのだろうか、という心配はありました。

私の感想は以上です。

**深田委員長**

ありがとうございます。里村委員からの貴重な意見、島の中から聞く視点と、外の人が聞く視点というのも、提案

というか、いかにスタッフがサポートする必要があるのかなという、いいご意見でした。ありがとうございます。

最後になりますが、わたしから感想を述べさせていただきます。

今回は、ゲストはどんどん変わるので、それはおいて、全体的に見たところで感想を述べさせていただきます。この番組の特徴を一言で表すと、「熱」というイメージがすごいあります。ですので、マンパワーですね。まーぼ兄の人となり、この番組の生命線になるので、たぶん、ディ！スタッフのサポートが非常に大事になってくる番組であるなと思います。どれだけテンションを盛り上げてスタジオに入れるかとか、(まーぼ兄は)ざっくばらんな豪快なお兄さんですけど、細かな気配りが必要になってくるのかなと思いました。感想と質問が入り乱れますけれども、この番組のスポンサーはどのようになっていますか？

ー放送局 上野 いらっしゃらないです。

深田委員長 募集も特にはしていない？

ー放送局 上野 そうですね。

深田委員長

それは、本人のご希望とかではなく、なのですね。息の長い番組ですので、「英会話の OVA」(番組名)と一緒に、上手く、はまだまーぼさんとマッチするような企業があれば、声かけするとはまるのかなと、ちょっと思いましたので、スポンサーの件を述べさせていただきました。

もうひとつ質問があるのが、ぐるぐる回る中(数珠つなぎ)で、2回という人はいなかったのかなと思いますね。

ー放送局 上野

基本的には、ゲストとしていらっしゃった方は、2回はないと思います。第5週のスペシャル枠では、何回か出る方もいらっしゃるんですけど。基本的に、数珠つなぎで「この人出てますか？」ということは確認させてもらっています。

深田委員長 僕、2回出たことがあるんですよ。スペシャルで。しかも変な話題のときに。いつも UFO のとき。

(一同笑)

深田委員長

「人が大事」という番組という感じですが、もしスタッフの中で知ってることがあれば教えてもらいたいのですが、まーぼ兄が、ゲストの言葉、気持ちを引き出すときに、気を遣っていることとかあれば、勉強のためにも聞きたいなと思って。初対面で、1時間で交流しながらいろんなエピソードを引き出しながら、ざっくばらんにいけるっていうのは、ある意味また才能なんですよ。すごい気を遣っているとは思いますが。

ー放送局 上野

私がお会いして、収録の現場で立ち会っている中で、「会ってすぐ収録を始めましょう」ではなくて、30分くらい2人だけでご挨拶、打ち合わせをして、そこで空気作りをされてて、そこは私たちは一切タッチしないんです。必要などきに出て行くくらいで。その間に、必要なチェック事項というか「あの人はこういうしゃべり方」「ノリがよい」などの空気を確かめていらっしゃると、スタジオに入ったら、いかにほぐすかということを前半考えていらっしゃる感じはします。

## 深田委員長

最後になります、この番組を最後僕の言葉で締めるとまさに「一本勝負」という言葉がぴったりなくらい、全力投球されているなと思います。息の長い番組で、毎週続けていくので、またみなさんで応援していただきたいなと思いました。

6 委員が話しましたが、逆にディ！スタッフ側から、ご質問があれば各委員、答えられると思いますので。なにかありますか？

## 一放送局 上野

他の番組では、ゲストを迎えるコーナーには「この人はこの話をします」ということが提示されることが多いのですが、この番組は、数珠つなぎでやっています。下手したら「三者(まーぼ兄、ゲスト、リスナー)はじめまして」だったりするわけですね。「三者はじめまして」の何も情報がないところで聴いてどうなのかなということが気にはなります。みなさんからお話はいただいていたのですが、知らない、まったく情報のない人の話を聴くというのは、改めてどうでしょうか？聴いていて、興味を持つまでの時間。前半、ちょっと長いなと思って変えてしまうっていうのがあると思うのですが。

## 深田委員長

毎回、(この番組を)聴いているので、今一緒に悩んでしまいました。  
では、重村委員からよろしいですか？

**重村委員** みなさんは、この濱田さんに会ったことがあるし、お知り合いなんですよ？

(委員数人:知り合いではないと返答。)

## 重村委員

(まーぼさんと委員のみなさんが)お知り合いかと思って(みなさんの意見を)聞いていました。  
濱田さんにお会いして、人となりをわかってから、またこの番組を聴くと、全然違うかもしれませんが。なにしろ、世代間の相違だったと思うんですよ。私の場合、(委員の中で年齢が)一番上ですし、母親的な気分で美穂さんのことも聴いていましたので、みなさんの意見がこんなもあるんだと思って、ほっとしました。

**深田委員長** 重村委員のそのような意見も貴重ですよ。

## 重村委員

親みたいに見てますから。この「めぐるちゃん」(里村委員デザインのキャラクター、新聞記事にも記載)も、1度しか里村さんにはお会いしていないのに、息子が活躍しているみたいな気分です。

(一同笑)

## 越間委員

今日考えていたんですけど、知らない人の話の何を楽しめるのだろうと、そこを知りたいだろうなと思って。例え

ば、喫茶店で一人でお茶を飲んでいるとしますよね。隣に二人来て、会話していると、自分の興味のあることに触れたときには、つい普通にしながら聞いてて、楽しめたりするじゃないですか。そういうノリなのかなと思いました。なかなか覗けないんだけど、覗かしてもらったような感じですよ。

**深田委員長** 元井委員はどうですか？

**元井委員** この番組は、狙っている年齢層はあるんですか？

—**放送局 上野** 特にないです。

**元井委員**

普通にリスナーさんが聴いているときに、琴線に触れたときに入ってくる番組だと思うんですよ。「愛と笑いを届けるトークバラエティ」ということで。ある意味、スピードラーニング的な、聴いて流す、流れていたら楽しいな、入ってくる時は入ってくるな、という感覚でリスナーは聴いているのかな、と思っているんですけど。そういう感覚で聴いていると、すごく楽しいんですよ。「聴くぞ！」という体制ではなくて、屋仁川からみなさん自宅に帰るときに、ずっと入ってくるような番組がこれなのかなと思います。自分はまったく、濱田さんと接点はないし、ゲストさんも知らないんですけど、3回車中で(サンプルを)聴きましたが、わりかしずっと入ってきました。サンプルCDではなく、ラジオの感覚で聴いて、すんなり入ってきました。

**深田委員長** 車で聴くのと、部屋で聴くのと違うのかもしれないね。

**元井委員** 車の中だと、「ハハッ」とか「クスッ」と(声を出して笑うことが)できますよね。

(一同笑)

**深田委員長** ありがとうございます。元野委員はどうですか？

**元野委員**

隣で会話しているということを言っていました、本当にそうだと思います。逆に怖いのが、自分にヒットするキーワードがなかったら、なかなか入ってこないだろうなというところがあるので、フリートークの怖いところではあるので、難しいのかなと思います。

聴き始めて、途中まで聴いと思ったら60分あつという間なんだろうけど、そこまで自分にくる(響く)ポイントがなかったら、ちょっとスルーしちゃう、という危険性はあるのかなと思います。

**深田委員長**

縁がつながっているときの集中というか、熱の入れ方とか聞き方ですよ。

ありがとうございます。里村委員はどうですか？

**里村委員**

先ほど、人のつながりが軸にあってという話がありましたが、紹介するときには、あまり詳しくはその人(ゲスト)のことを紹介はせずに、会話の中で出していく感じですよ？自分に気になる内容の人かということの特徴付ける紹介をするべきか、しないべきか。もしかしたらあえて会話の中で出すためについてということもあるのかもしれないんですけど。聴いてる側(リスナー)からしたら、どこで何をしていたぐらいはあってもいいのかなと思います。前半の



始まりと後半の始まりに(紹介が)あったら、のめり込む人はのめり込むし、興味のない人はすぐにスルーできる、選択ができるかと思います。果たして、お二人がどんな人物かということが、ずっと聴いていないとわからないというのが、リスナー側からしたら、「紹介してほしいな」と思います。

30分の打ち合わせの中で、ある程度の内容は分かっているとは思いますが、例えばですけれども、いくつかポイントがあるとして、その中の2つ3つ「どこでなにをしている、だれだれさんです」と。さらに、もっとおもしろいやつを隠しておいて、会話の中で出すとかしたら、のめり込みやすいと思います。

#### 深田委員長

例えば、「大和村出身の～」 「笠利町出身の～」 「スポーツで活躍している」 「～大賞を受賞した」とか、ザクッと紹介するといいかもしれないですね。

#### 里村委員

変なエピソードでもいいと思います。聴いてる側としてはイメージできるので。単純に名前だけ言われても、どちら(紹介者とゲスト)も分からなかったらポカンとなってしまいますので。

元井委員 9時半(番組の途中)から聴いた人は、「だれ？」ってなりますよね。

#### 深田委員長

オープニングでまーぼ兄にも前回のおさらいを紹介でサラッとってから入ると、もっと聴きやすいかもしれないですね。前の週に言ったキーワードをもう1回オープニングでしゃべってから入るとか。

最初に「こういう番組です」って言うのは、バランス崩れるんでしょうか？ ナレーションみたいなのを毎回さらっと言ってから入るっていうのは、どうでしょうか(提案)。初めて聴く人のためとか、外から来た人のために、オープニングで特徴を硬くならず伝えることがあってもいいのかなと思いました。

—放送局 ありがとうございます。

#### 深田委員長

みなさんありがとうございました。

人が集まれば、たくさん話が出てきて、一方から見ると、違う方向から見ると、非常に勉強になります。また、次回もいろんなアイデア、疑問をぶつけて、よりいい番組になっていくようにご協力いただければと思います。

#### (3) 次回の審議会について

深田委員長より、配布されている次回の審議内容「Dr.ピョン吉と奄専のメディカルカフェ」についての案内文の読み上げがある。

#### 深田委員長

放送局から、特に細かく聞きたいところを挙げるのではなく、今回のように思い思いな形でご意見をいただければいいですね？ 辛口大歓迎で(笑)。

## 一放送局 丸田

はい。よろしくおねがいします。ちなみに、メディカル番組という位置づけではありますが、頭にはバラエティーもつきます。硬くなく、平瀬先生が放送的にもとても面白く、いいキャラクターをされていて。鳩浜にある、平瀬医院の先生ですね。ご本人もお酒がお好きなのですが、メタボのことを散々話しながら、健康に気をつけなければいけないと、節制の仕方など紹介されたりしています。リスナーからの健康に関するお悩み相談を受け付けたり、奄美看護福祉専門学校の校長先生もされているので、学生さん達が主体として取り組んでいることの情報発信としてコーナーを使ったり、1時間、シリアスな部分と、楽しめる部分とを織り交ぜながらお届けしています。

次回の日程につきまして、2ヶ月に1度の開催ということで、次回の開催を、(旧暦の盆を避けた)8月14日木曜日にしたいのですが、みなさんいかがですか。(一同了承し、8月14日に決定する)。

深田委員長 その他、放送局側からなにかありますか？

## 一放送局 麓

先ほどスポンサーのことについてお話などありましたが、放送の考え方を少しご説明したいのですが、自主で作っている番組、たとえば生ワイド番組などで手伝っていただいている方は、ボランティアとして携わっていただいているのですが、その他、住民参加番組として、「こういう番組をやりたい」という提案をいただく場合は、本来、放送の考え方としては波料を頂戴して放送していただくということになります。ただ、内容を確認し、問題なければ、このまーぼ兄の番組もそうですが、その時間を開放するというので、放送が流れていることになります。そのように、ボランティアさんと住民参加枠を活用されている方と、2つのスタイルがあるということをお伝えします。なので、もしも企業さんが、自分達の宣伝番組を1時間したいということであれば、そういったとき波料をいただいて時間を調整するという考え方です。

もちろん、住民参加番組にスポンサーがついてはだめということではなくて、もしスポンサーが付いてくださるということで、また、ご本人も希望されるということであれば、つけて、収入の調整は協議するという形になります。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成26年7月5日(土曜日)6:00~放送
- ② 書面の備置き:平成26年7月5日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を当法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成26年7月5日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

## 9 その他の参考事項 なし